

**令和5年度進行管理・評価シート**  
**湯前町 歴史的風致維持向上計画（平成29年3月17日認定）**  
**（最終変更 平成31年3月5日）**

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 事業推進のための体制整備等	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画と景観計画	.....	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 歴史的建造物の維持保全に関する事業	.....	3
2 伝統を反映した人々の活動に関する事業	.....	7
3 まちなみと景観形成に関する事業	.....	8
4 歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業	.....	10
5 歴史的風致の維持向上に関する調査・計画策定事業	.....	16
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財保護委員会の開催状況等文化財保護行政の取組状況		17
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 報道の状況	.....	18
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 その他(効果等)	.....	19

<b>□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)</b>	.....	湯前町-1
--------------------------------	-------	-------

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
<input type="radio"/> 事業推進のための体制整備 <input type="radio"/> 歴史的風致維持向上協議会の開催 <input type="radio"/> 関係団体等との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	<input type="radio"/> まちづくり関連課と文化財関連課が担当し、各事業担当課と庁内の横断的な連携を図りつつ本計画の総合的かつ効果的な進行を図っていく。 <input type="radio"/> 湯前町歴史的風致維持向上協議会は計画の円滑な実施に係る連絡調整や計画変更の協議を行うとともに、湯前町文化財保護委員会等とも協議を行い計画を推進していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<input type="radio"/> 関係各課及び町政推進プロジェクトチーム(歴史まちづくり)での協議と併せ、計画内容の進行状況確認や関連事業の協議・調整を随時行った。 <input type="radio"/> 湯前町歴史的風致維持向上協議会において、計画内容の進行状況確認、街なみ環境整備事業計画等の個別事業の検討を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、庁内関係課の連携体制を確立し協議会等との連携を推進する。		
状況を示す写真や資料等			
<p>■ 歴史まちづくりの実施体制</p>			
<p>■ 湯前町歴史的風致維持向上協議会の開催(令和5年度分)                      【6/26～7/10 通常総会書面決議】                      【12/10 第1回協議会】                      ・下里御大師堂修理事業・周辺整備事業について                      ・下町橋補修事業について                      ・明導寺阿弥陀堂屋根及び九重石塔修理事業について                      ・歴史的風致維持向上計画(第2期)の策定について</p>			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
○ 都市計画 ○ 景観計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容 ○ 本町は都市計画区域を指定しておらず、今後は住民等へのまちづくりへの普及・啓発を図りながら、地域の実情に応じた土地利用の規制導入に関する検討を行い歴史・文化を活かしたまちづくりの推進を図っていく。 ○ 本町は全域が熊本県景観計画区域に含まれ規制区域となっており、重点区域内では、国道219号の沿線が特定施設届出地区となっている。また、国道219号及び388号の沿線が、熊本県屋外広告物条例の第3種禁止区域となっている。本計画期間内に景観行政団体への移行と景観計画の策定に向けた検討を行っていくこととし、屋外広告物に係る条例等も併せて検討を進めていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で ○ 景観行政団体への移行 ……移行予定 ○ 景観計画の策定 ……策定予定 ○ 屋外広告物に係る条例等の制定 ……制定予定		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和元年度の庁内課長会議において、令和8年度までの景観行政団体移行及び景観計画策定の方針決定をしている。熊本県と実務者協議を行い、広域での景観基本方針策定を県で実施し、域内町村で景観行政推進に取り組むこととしている。	

状況を示す写真や資料等

令和2年7月豪雨により町内各所で山腹崩壊や土砂流出等の災害が発生したが、応急措置により道路交通は復旧している。歴史的風致形成建造物に大きな被害はなかったが、重点区域内に位置するくまがわ鉄道は、沿線の災害により未だ一部区間不通となっている。

令和5年度においても引き続き道路河川・治山林道等の本格的な災害復旧事業が進められ重点区域の景観も復旧が完了した。



重点区域と規制区域図



重点区域内の災害状況(河川)



災害復旧状況(河川)



重点区域内の災害状況(道路)



災害復旧状況(道路)

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
(1) 歴史的建造物の維持保全に関する事業 ① 明導寺阿弥陀堂屋根及び九重石塔修繕事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 平成29年度～令和元年度			
支援事業名 町単独事業			
計画に記載している内容	明導寺阿弥陀堂は平成21年度に茅葺き屋根の修繕を行ったが、近年の気象変動や茅素材そのものの性質変化、樹木等の周辺環境の影響で、部分劣化が著しく進行していることから、修繕を行う。また、熊本地震で損壊した九重石塔も修繕と耐震対策の検討を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○ 明導寺阿弥陀堂の適切な保存・・・茅葺き屋根の修繕及び周辺樹木の管理について庁内及び文化財保護委員会、法定協議会で検討を行った。屋根に生えていたヤドリギや幼木を除去した。 ○ 明導寺(城泉寺)七重石塔の適切な保全・・・令和元年度に九重石塔と共に3D計測を行いデジタルアーカイブ化。 ○ 明導寺(城泉寺)九重石塔の適切な保全・・・令和元年度に平成28年熊本地震で損傷した石塔の修繕を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	明導寺阿弥陀堂の茅葺き屋根がだいぶ痛んできており、令和6年度に屋根修理及び九重石塔耐震工事の基本設計を実施する予定である。		
状況を示す写真や資料等			
			
明導寺阿弥陀堂			
			
敷地内の九重石塔ほか			

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
(1) 歴史的建造物の維持保全に関する事業 (2) 御大師堂修繕事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和6年度

支援事業名 町単独事業・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 御大師堂は県が指定する文化財であり茅葺き屋根の堂宇である。この茅葺き屋根は平成16年に地域住民の参画のもと修繕がなされているが、10年以上経過し全体的に劣化が進行しているため、歴史的風致形成建造物に指定し修繕を行う。また、隣接する休憩所の改築や公園施設など一体的な周辺整備に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○ 御大師堂の適切な保全 ○ 御大師堂の周辺整備

令和元年度より街なみ環境整備事業を活用し、文化財建造物専門業者により大師堂保存修理工事に向けた基礎調査と設計業務を行った。併せて有識者を交えた保存修理協議を行い、全解体修復をする方針が決定した。また、地区対象に発掘調査と建物調査の現地説明を実施した。令和3年度より御大師堂保存修理工事に本体工事に着手し、令和5年9月竣工した。12月には落成式・落成記念講演会を開催し、多数の参加者があった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的風致形成建造物の保存修理事業においては、詳細な調査や多岐の検討を必要とし事業期間が計画時点より長期化していたが、令和5年度をもって建物本体の保存修理工事が完了した。令和6年度には、御大師堂休憩所新築工事と公園整備を引き続き行い、歴史的風致の向上に取り組んでいきたい。



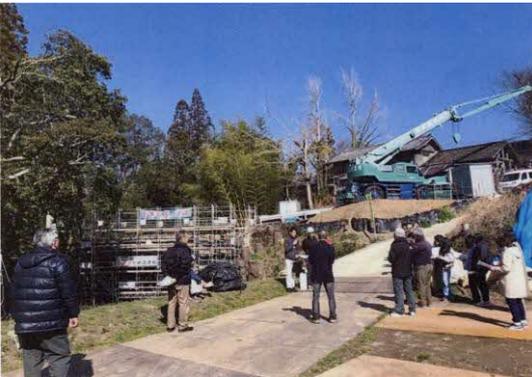
着工前の下里御大師堂



竣工した下里御大師堂



下里御大師堂落成式・記念講演会を報じる新聞記事 (R5.12.15「人吉新聞」)

評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
(1) 歴史的建造物の維持保全に関する事業 ③ 湯前町歴史的風致形成建造物保全整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 平成30年度～令和8年度			
支援事業名 町単独事業・社会資本整備総合交付金(道路事業)			
計画に記載している内容	歴史的風致形成建造物の指定方針に基づき、指定を行った建造物において、歴史的風致の維持及び向上を図る上で必要と認められる改修等の支援を行う。また、住居等で耐震診断や耐震改修の必要な建造物は耐震対策も併せて支援を行っていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○ 令和5年度末時点指定箇所数 2件(下里御大師堂・下町橋) ○ 下町橋補修事業は社会資本整備総合交付金を活用し、令和2年度に補修設計を実施し、令和4年度、施工業者との契約を締結し、令和5年度に着工、令和6年度に完了を予定している。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		現時点では、下里御大師堂と下町橋の2件を歴史的風致形成建造物に指定し、修理等を実施しているが、それ以外の指定が進んでいない。文化財の指定・未指定に関わらず、歴史的建造物の修理の要望等も出ているので、今後、新たな指定を進め、保全整備に取り組んでいきたい。	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>工事の安全を関係者で祈願</p> <h3>下町橋、初の大規模改修へ</h3> <p>補修工事安全祈願祭を開催</p> <p>8月22日に下町橋補修工事安全祈願祭を開き、金子光憲議長や施工業者の株式会社尾上建設(上益城郡山都町)など、工事関係者およそ15人が参加しました。下町橋は明治39年に建設された単一アーチ式の石橋で、下城の「下」と古町の「町」とをとり「下町橋」と名付けられました。現在は町指定文化財となっています。建設から117年経ち、初の大規模補修となる今回の工事では、壁石・輪石の補強やガードレールから石造高欄への変更などを計画しています。代表であいさつした長谷和人町長は「補修後は下町橋や橋周辺の美しい景観を生かした取り組みができるのではないかと大いに期待している」と話しました。</p> <p>※輪石…橋のアーチ部分を支える石 石造高欄…石で造られた欄干</p>  <p>橋をおほらい</p> <p>7 Yunomae Oct. 2023</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>解体中の下町橋(R5.12.9)</p>  <p>下町橋補修工事見学会(R6.2.17)</p> </div> </div>			
「広報湯前」10月号記事			

評価軸③-4  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
		現在の状況
(1) 歴史的建造物の維持保全に関する事業 ④ 幸野溝周辺環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容  
幸野溝は世界かんがい遺産の認定登録を受けており、今後とも適切な維持管理と地域用水の持つ多面的機能の維持増進、生活空間の質的向上等を図る必要がある。このことから、幸野溝の水路及び沿線道路の防草対策や植栽等を行うとともに、地域住民等一体となった維持・保全体制の構築を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○ 幸野溝施設の保全  
幸野溝施設の維持管理を適切に行いながら、世界かんがい遺産の研修として計131名を受け入れた。幸野溝の主目的である利水事業のため、幸野溝土地改良区が主体となり、受益者(農家等)と共に、清掃、点検、修理等の適切な維持管理を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	世界かんがい遺産の認定登録を契機として、幸野溝の活用協議会が設立され、幸野溝土地改良区を主体として研修受入に取り組んでいる。幸野溝疏水施設は適切に維持管理がなされている。



幸野溝(球磨川の旧取水堰)

幸野溝土地改良区の活用活動等実績(R5)

- 研修受入
  - ・一般 7団体 131名



幸野溝



町内教職員研修での幸野溝旧隧道の見学

評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
項目	評価対象年度 令和5年度 現在の状況	
(2) 伝統を反映した人々の活動に関する事業 ⑤ 無形民俗文化財保存継承事業 ⑥ 地域伝統芸能等保存活用事業 ⑦ 郷土学習総合推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 歴史的風致維持向上計画認定前～令和8年度		
支援事業名 町単独事業		
計画に記載している内容 ⑤ 太鼓踊りや棒踊りなどの無形民俗文化財の保存活動に取り組んでいる保存会等の活動を支援することで、長い歴史の中で保存継承されてきた遺産を後世に伝えるとともに、町民の歴史や文化に対する理解を深め、郷土愛を育てていく。 ⑥ 存続活動が低下し滅失が危惧される、記録の少ない無形の民俗文化財等(祭り、伝説、神話、民話、伝統芸能、伝統技能、習俗等)を映像等に記録・保存し、地域の歴史文化の伝承と情報発信を推進する。 ⑦ 「歴史探訪講座」や小中学生の町内探検、民俗芸能学習授業など、生涯学習や総合学習等において、広く住民に郷土の歴史・文化・芸能等に関する学習機会を提供し、学校教育との連携も図りながら、住民の郷土に対する関心を深める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○ 東方組太鼓踊り、浅鹿野棒踊り、球磨神楽の各保存会の継承活動に対する補助を行った。 ○ 浅鹿野棒踊り・球磨神楽に使用する楽器・装束等の修理・新調に対する補助を行った。 ○ 湯前中学校において総合学習の一環として、東方組太鼓踊り、浅鹿野棒踊り、球磨神楽の伝統芸能継承活動を実施し、文化祭や里宮神社の秋季大祭で披露した。 ○ 生涯学習の一環として歴史探訪講座(奥球磨セミナー)を近隣町村と合同で開催した。また下町橋補修工事見学会や下里御大師堂落成記念講演会を開催し、町内外から多数の参加者があった。		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き無形民俗文化財の継承活動を推進するとともに、歴史探訪講座など住民への学習機会の提供に努める。	
状況を示す写真や資料等		
1 補助の実績 (1) 無形民俗文化財保存継承活動 3団体 200千円(東方組太鼓踊り保存会・浅鹿野棒踊り保存会・球磨神楽保存会) (2) 無形民俗文化財修理等事業 2件 533千円(浅鹿野棒踊り保存会・球磨神楽保存会)		
2 記録映像のアクセス数 (1) 町ホームページ伝統芸能ページのアクセス数 H30年度中 1,555件→R1年度中 2,267件 令和2年度からホームページのリニューアルを行ったため、アクセス数のカウントができなくなった。		
3 歴史文化に関する総合学習、特別授業、中学校の伝承活動等の実績 (1) 生涯学習歴史探訪講座 2回(H29・H30・R1・R3・R4・R5) (2) 日本遺産講座 3回(H29・H30・R1) (3) 小学校総合学習(文化財) 2回(H29) 3回(H30) 1回(R1) 1回(R4) 1回(R5) (4) 中学生への地域伝統芸能の継承活動 15回(H29・H30・R1・R3・R4・R5) (5) 中学生による地域伝統芸能の披露 2回(H29・H30・R1・R3・R4・R5) (6) 奥球磨セミナー 2回(H30・R1・R4・R5)(奥球磨の文化財、建造物、相良33観音めぐりに関するセミナー)		
		
湯前中学校生徒 伝統芸能継承活動 東方組太鼓踊り	湯前中学校生徒 伝統芸能継承活動 浅鹿野棒踊り	湯前中学校生徒 伝統芸能継承活動 球磨神楽
湯前中学校伝統芸能継承活動紹介HP <a href="https://jh.higo.ed.jp/yunomae/album">https://jh.higo.ed.jp/yunomae/album</a>		

評価軸③-6 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
(3)まちなみと景観形成に関する事業 ⑧ 明導寺阿弥陀堂等周辺整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 平成29年度～令和8年度			
支援事業名 町単独事業			
計画に記載している内容 明導寺阿弥陀堂周辺は、八勝寺阿弥陀堂や宝陀寺観音堂といった歴史的建造物が集積しており、観光客等も増加している。近年は、観光バスでの来場者が増加しており、現在未舗装となっている駐車場やトイレ等の周辺施設の整備や、周辺竹林の適切な管理、歴史的建造物を結ぶ参道の整備など総合的な周辺整備を行う。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<input type="checkbox"/> 明導寺阿弥陀堂の周辺整備 <input type="checkbox"/> 八勝寺阿弥陀堂の周辺整備 <input type="checkbox"/> 宝陀寺観音堂の周辺整備		法定協議会、湯前町文化財保護委員会等において、 宝陀寺観音堂等の歴史的風致形成建造物指定について協議を行った。	
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		明導寺阿弥陀堂等の維持管理については、堂宇等建物や周辺の清掃など地域住民が主体となって取り組みをしている。宝陀寺観音堂の参道施設の老朽化といった課題もあり地域住民の高齢化や担い手減少も踏まえ、今後も地域住民等を交え引き続き検討を進める。	
状況を示す写真や資料等			
			
八勝寺阿弥陀堂周辺		馬場稻荷社周辺	
			
		馬場稻荷神社 支障木伐採	
			
宝陀寺観音堂		宝陀寺観音堂の参道	
			
		宝陀寺観音堂 敷地内の墓地	

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
		現在の状況
(3)まちなみと景観形成に関する事業 ⑨ 里宮通り他道路美装化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 町中心部から市房山神宮里宮神社へ向かう、里宮通り、桜町通り等の道路は、観光列車の運行開始等も相まって、町外からの町歩き観光客等が増加しており、歴史的なまちなみを形成していくため道路美装化に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○ 道路空間を活用した住環境の整備  
 ○ 住民満足度と歴史的建造物へのアクセス向上  
 平成30年度は街なみ環境整備事業計画策定の中で、事業対象路線沿道の建造物・景観・通行量調査等、地域住民等のワークショップ等を経て道路美装化事業構想を策定した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	道路美装化は事業費が大きく、複数年度にわたり事業を行うため、他事業との調整や財源確保が課題となる。



中心市街地概要図



里宮通りイメージパース



桜町通りイメージパース



駅前通りイメージパース



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
(4) 歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業 ① 湯前町歴史文化情報発信推進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	町単独事業・文化遺産総合活用推進事業(歴史文化基本構想策定支援)		
計画に記載している内容	歴史的風致維持向上計画の公表や湯前町歴史文化基本構想の策定等と併せ、湯前町広報、ホームページ等で歴史まちづくりに関する情報を重点的に掲載していき、住民参加型のソーシャル・ネットワーキング・サービスの活用や、シンポジウムの開催等を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○ 湯前町HPでの計画等公表 …「湯前町歴史的風致維持向上計画」「湯前町歴史文化基本構想」を公表 ○ ホームページでの歴史文化関連情報の公開等 … 令和5年度は2件 ○ 湯前町広報 … 令和5年度の関連記事数 10件 ○ シンポジウム等の開催 … 1回(下里御大師堂落成記念講演会)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成29年度に湯前町歴史文化基本構想を策定しているが、住民参加型の事業着手が未定となっており、区長会や観光案内人協会、生涯学習受講者等との合意形成を図り事業着手を行っていきたい。		
状況を示す写真や資料等			

令和5年度湯前町歴史的風致維持向上関係		「広報湯前」掲載一覧	
発行月	記事タイトル	サブタイトル・主な内容	備考
8	湯前歴史散歩	下里御大師堂の墨書を読む①	下里御大師堂
9	湯前歴史散歩	下里御大師堂の墨書を読む②	下里御大師堂
10	湯前歴史散歩	下里御大師堂の墨書を読む③	下里御大師堂
10	下町橋、初の大規模改修へ	補修工事安全祈願祭を開催	下町橋
11	湯前歴史散歩	湯前町と尺八のゆかり	明導寺阿弥陀堂、宝陀寺観音堂
12	次代へ受け継ぐ「技」と「思い」	伝統芸能継承活動	伝統芸能継承活動
2	工事完了後の下里御大師堂をお披露目	下里御大師堂保存修理工事落成式・記念講演会	下里御大師堂
3	「地域の宝」であり続けるために	湯前線開業100周年記念特集	湯前駅
3	貴重な体験	下町橋補修工事見学会	下町橋
3	湯前歴史散歩	村会議事録にみる下町橋の架設①	下町橋
記事数計	10		



「広報湯前」8月号



「広報湯前」12月号

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
(4)歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業 ⑫ 駅舎内湯前ギャラリー整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業・地方創生拠点整備交付金・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的価値の高い湯前駅舎は、今後とも景観を壊さないように維持していくことが重要となっており、観光列車田園シンフォニーを利用した観光客等に、本町の歴史文化を知っていただくため、駅舎内部の壁を利用して、資料館的な機能を持たせ、明導寺阿弥陀堂や八勝寺阿弥陀堂、伝統芸能など本町を代表する歴史文化遺産を展示する空間整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○ 湯前駅舎(国登録有形文化財)の保全と活用 … 庁内検討段階  
令和3年11月に湯前—肥後西村駅間での運転が再開し、湯前駅も高校生の通学等に利用されている。駅舎での七夕飾りやレールウィングでイベントも開催されるなど、賑わいを取り戻しつつある。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年7月豪雨によりくま川鉄道に大きな被害があり、現在鉄道は一部区間の開通となっている。当面は鉄道運航再開に向けた事業が行われるが、今後も湯前駅舎の所有・管理団体であるくま川鉄道(株)との協議を行い歴史的資源の情報発信施設としての機能向上を図る。

状況を示す写真や資料等



くま川鉄道 湯前駅本屋



くま川鉄道湯前駅本屋(駅舎内部)



湯前線の歴史(湯前駅舎内)

評価軸③-11  
**歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項**

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
(4) 歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業 ⑬ 歴史文化利活用着地型観光事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業・熊本県単独補助事業

計画に記載している内容  
 明導寺阿弥陀堂や八勝寺阿弥陀堂等の歴史文化遺産を観光資源として活用していくために、観光客の受け入れ先である本地域が、地域ならではの周遊プログラム等を企画し、参加者が現地集合、現地解散する観光形態の推進を図るとともに、観光案内人をガイドとしてサービスを提供していく取り組みを構築する。本事業は、湯前町観光物産協会等を中心として関係事業との連携を図りながら推進を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

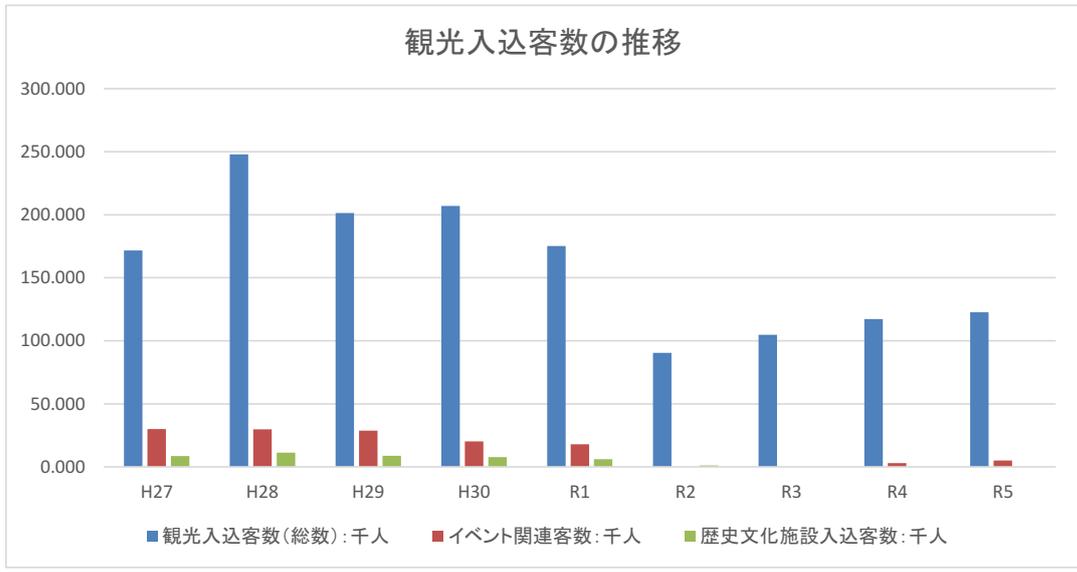
○ 観光入込客数(うち歴史文化関係施設の来場者数)  
 175,194人(6,180人)(R1)→ 90,840人(1043人)(R2)→ 104860人(R3)→117,275人(R4)→**122,589人(R5)**

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)  
 計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない  
 観光客入込数はゆるやかに回復しつつある。今後も観光振興と情報発信に力を入れ、早期の回復を図る。

状況を示す写真や資料等

区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
観光入込客数(総数):千人	171.567	247.926	201.405	206.880	175.194	90.480	104.860	117.275	122.589
イベント関連客数:千人	30.007	29.697	28.628	20.135	18.026	0.000	未集計	3.000	5.000
歴史文化施設入込客数:千人	8.489	11.198	8.744	7.792	6.180	1.043	未集計	未集計	未集計



評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
(4) 歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業 ⑭ 案内看板統一化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度  
 支援事業名 町単独事業・熊本県単独補助事業

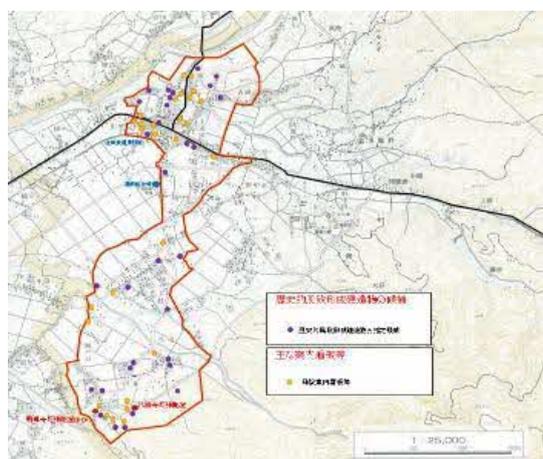
計画に記載している内容  
 歴史的建造物等を案内する看板について、これまで各種事業等により整備を行ってきたが、経年劣化が進み、表記方法や意匠の統一感がないため、多言語表示化も含め、人吉球磨日本遺産活用協議会との連携を図りながら、統一感のある案内看板等の整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成29年度時点の案内板箇所数 ……29箇所
- 令和5年度設置 ……0箇所
- 案内看板統一化事業で設置した箇所数 …… 2箇所【内評価対象年度の箇所数0箇所】
- 多言語表示の案内板箇所数 …… 3箇所

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない  
 平成30年度は街なみ環境整備事業計画の策定過程で、重点区域内の主な案内板等の基礎調査を実施した。令和3度以降にサイン計画策定を予定していたが令和2年7月豪雨災害復旧事業の優先実施のため事業先送りとなっている。  
 状況を示す写真や資料等



重点区域内の国が指定する重要文化財及び歴史的風致形成建造物指定の候補と既設案内板等の位置図

評価軸③-13  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
(4)歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業 ⑮ 湯前町観光案内人育成事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和2年度

支援事業名 町単独事業・熊本県単独補助事業

計画に記載している内容 観光案内人養成講座を開催し、観光客への案内が容易に出来る人材育成に取り組むことと併せ組織化を図り、観光案内人の育成を推進していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 観光案内人の組織 … 1団体 14名(10個人+4団体)
- 観光案内人の利用 … 0件(R5) 定時ツアー等の開催 3件
- 定例会等の実施 … 14回(R5) 定例会9回のほか、研修やAED講習を実施した。  
また奥球磨広域連携推進協議会主催の奥球磨めぐりんフットパスに参加した。
- 情報発信 … ・郷あるきツアーのチラシ作成・配布、オリジナルポストカードの販売  
・地域おこし協力隊員が文化財施設等の観光情報をSNSで積極的に発信している。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

観光案内人の養成、質の高い案内が可能となるように個人のスキルアップが必要になる。また、持続的な活動のための組織体制の強化が必要になる。

状況を示す写真や資料等



秋の郷あるきツアー(城泉寺、R5.11.5)



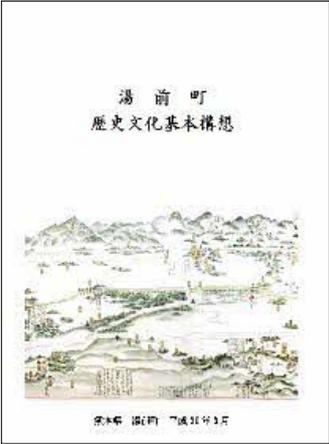
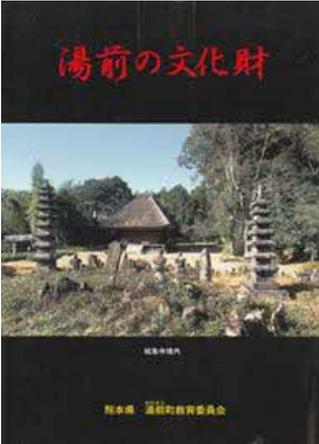
秋の郷あるきツアー(八勝寺、R5.11.5)



奥球磨めぐりんフットパス  
(下里御大師堂、R6.2.18)



奥球磨めぐりんフットパス  
(市房山、R6.2.18)

評価軸③-14 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
(5)歴史的風致の維持向上に関する調査・計画策定事業 ⑯ 湯前町歴史文化基本構想等策定事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 平成29年度～令和2年度			
支援事業名 町単独事業・文化遺産総合活用推進事業(歴史文化基本構想策定支援)			
計画に記載している内容	『湯前町の文化財』発行から10年以上が経過し、文化財全般にわたり、調査や台帳整備等が必要となっている。歴史文化基本構想の策定を中心として、歴史文化の振興とともに地域活性化を推進する。また、これらの情報はホームページ等での公開がこれまで行われていなかったため、情報発信を併せて推進していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○ 湯前町歴史文化基本構想の策定 …… 平成29年度策定済			
」		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成29年度に湯前町歴史文化基本構想を策定、平成30年度は『湯前町の文化財』を300冊増補し文化財に対する普及資料として活用したが、湯前町HPでの公表は当該冊子を有料販売してきた経緯があり実施に至っていない。今後は、HP公表に向けて教育委員会、文化財保護委員会で検討を進める。		
状況を示す写真や資料等			
			
『湯前町歴史文化基本構想』 平成29年度策定	『湯前の文化財』 平成30年度改訂	『下里御大師堂修理工事報告書』 令和4年度発行	

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
文化財保護委員会の開催状況等文化財保護行政の取組状況		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 指定又は未指定に関わらず、本町に残された文化財を確実に後世に伝えていくためには、文化財の保存だけでなく周辺環境や組織を含めた一体的な保存・管理・活用の運営を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財保護委員会の開催 … 2回/年  
 文化財管理人の設置 … 3箇所・3名  
 文化財施設の管理 … 3箇所(委託)  
 文化財の指定状況 … 令和5年度中の新規指定・解除はなし  
 文化財の防災・防犯 … 文化財防火デー(防災訓練)の実施、下里御大師堂防災設備説明会、明導寺阿弥陀堂防災設備改修工事

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

令和5年度に、湯前町文化財振興補助金交付要項を改正し、補助の対象に未指定の建造物を追加し、支援を行った。

状況を示す写真や資料等

- 湯前町文化財保護委員会の開催状況(令和5年度)
  - 第1回文化財保護委員会(R5.7.12)
    - 文化財パトロール
      - ・下里御大師堂修理事業について
      - ・下町橋補修事業について
      - ・文化財振興補助金について
      - ・歴史的風致形成建造物の指定について
      - ・熊本県文化財保護協会研修について
  - 第2回文化財保護委員会(R6.3.25)
    - 文化財パトロール
      - ・下里御大師堂保存修理事業について
      - ・下町橋補修事業について
      - ・明導寺阿弥陀堂屋根修理・九重石塔耐震事業について
      - ・上村区・毘沙門の大桜について
      - ・城泉寺仏像・鰐口の九州国立博物館への貸出について
- 文化財施設の管理委託状況
  - (1)明導寺阿弥陀堂
  - (2)下里御大師堂
  - (3)宝院寺観音堂
  - (4)八勝寺阿弥陀堂
- 文化財振興補助金の交付状況
  - (1)明導寺阿弥陀堂・宝院寺観音堂
  - (2)八勝寺阿弥陀堂
  - (3)下里御大師堂
  - (4)普門寺観音堂
  - (5)上小原五輪塔群
  - (6)七ツ山観音堂
  - (7)東方組太鼓踊り保存会
  - (8)浅鹿野棒踊り保存会
  - (9)球磨神楽保存会
- 文化財調査
  - ・明導寺阿弥陀堂・八勝寺阿弥陀堂(日本女子大是澤准教授ほか)
- 文化財防火デー(防災訓練)等の実施
  - ・12月、下里御大師堂防災設備説明会
  - ・1月、八勝寺阿弥陀堂にて実施
- 歴史文化に関する総合学習等の開催実績
  - (1)生涯学習歴史探訪講座 2回
  - (2)小学校総合学習(文化財) 1回
  - (3)中学生による地域伝統芸能活動の伝承活動

区分	国指定	県指定	町指定	計	
有形文化財	建造物	4	1	8	13
	絵画	0	0	1	1
	書跡	0	0	0	0
	典籍	0	0	0	0
	古文書	0	0	0	0
	彫刻	1	3	8	12
	工芸	0	1	5	6
	考古	0	0	0	0
歴史資料	0	0	1	1	
無形文化財	0	0	0	0	
民俗文化財	有形民俗文化財	0	0	2	2
	無形民俗文化財	1	0	3	4
記念物	史跡	0	0	3	3
	名称	0	0	0	0
	天然記念物	0	0	3	3
文化的景観	0	0	0	0	
伝統的建造物群	0	0	0	0	
文化財の保存技術	0	0	0	0	
合計	6	5	34	45	

国登録有形文化財	3
合計	3

湯前町指定文化財一覧

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
下記のとおり			人吉新聞 熊本日日新聞 その他雑誌

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○ 歴史的風致に関連する報道 …… 人吉新聞及び熊本日日新聞等に掲載された記事数 29件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

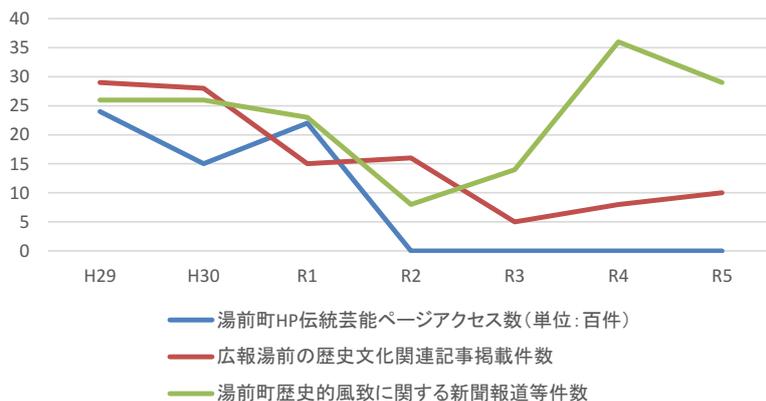
- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

今後も積極的に情報発信を行っていく。

状況を示す写真や資料等

令和5年度 湯前町歴史的風致維持向上計画関係 新聞等報道一覧				関連する歴史的風致		日本遺産認定関連	備考
掲載・発行日	掲載紙	題目	サブタイトル・主な内容	里宮神社の相良三十三	幸野溝と球磨焼酎		
4月13日	人吉新聞	都市活性化へ限定商品	豊永酒造 5店で「球磨娘」販売		○		豊永酒造
5月27日	人吉新聞	花祭に合わせて三日月マルシェ	宗派や世代超え盛況			○	人吉球磨観光地域づくり協議会
5月8日	熊本日日新聞	歓迎生誕甘茶かけ祝	湯前町で「三日月花祭」まようまで			○	人吉球磨観光地域づくり協議会
8月26日	人吉新聞	郷土の食文化作って理解	湯前町教職員 下村婦人会の歴史も				
9月21日	人吉新聞	秋の開帳合わせ観音堂きれいに	湯前中1年生 町内3カ所で清掃活動		○		普門寺観音堂、宝陀寺観音堂、明導寺阿弥陀堂
9月22日	人吉新聞	秋夜に響く「尺八」白土師が奉納演奏	あす湯前町の浄心寺		○		明導寺阿弥陀堂
10月26日	熊本日日新聞	湯前の夜 神秘の世界楽しむ	提灯持ち「お歳さん参り」	○		○	市房山神宮里宮神社、人吉球磨観光地域づくり協議会
11月8日	人吉新聞	市房山を一望 鳥居建立	湯前町里宮神社 球磨工匠建築科が製作	○			市房山神宮里宮神社
11月25日	人吉新聞	湯前町林にスギ500本植栽	ダイダシ九州支社 社員ら訪れ森林保全活動				
12月2日	人吉新聞	湯前中生が郷土芸能奉納	里宮神社秋季大祭 神楽、棒踊り、太鼓踊り				球磨神楽・東方組太鼓・浅鹿野棒踊
12月15日	人吉新聞	下里御大師堂保存修理工事が完了	落成記念し伊東氏講演		○		下里御大師堂
12月24日	熊本日日新聞	「下里御大師堂」修理完了	湯前町 住民憩いの場 公園整備へ		○		下里御大師堂
12月28日	人吉新聞	城所さんが「辰」奉納	里宮神社の十二支そろう	○			市房山神宮里宮神社
1月5日	人吉新聞	節日祝って伝統の記念植林	湯前町「二十歳を祝う会」				
1月17日	熊本日日新聞	軽巡洋艦「球磨」沈没から80年	里宮神社慰霊祭 鎮魂の歌とラッパ響く	○		○	市房山神宮里宮神社
1月23日	熊本日日新聞	湯前町	下町橋の補修工事を中学生が見学				下町橋
1月27日	人吉新聞	湯跡と戦跡に興味津々	里宮神社総代会 里道整備受け現地見学	○			湯前城跡、市房山神宮里宮神社
1月31日	人吉新聞	石橋の補修に興味津々	湯前中2年生「下町橋」見学し歴史学ぶ				下町橋
2月10日	人吉新聞	茅葺き社寺 光に浮かぶ	日本遺産群9カ所 祈りのライトアップ始まる			○	明導寺阿弥陀堂・八勝寺阿弥陀堂・下里御大師堂
2月16日	熊本日日新聞	かやぶき屋根 光に包まれ	人吉球磨 寺社9カ所ライトアップ			○	明導寺阿弥陀堂・八勝寺阿弥陀堂・下里御大師堂
2月18日	熊本日日新聞	「織月石」に祈り込め	人吉球磨で三日月詣			○	明導寺阿弥陀堂、人吉球磨観光地域づくり協議会
2月18日	熊本日日新聞	球磨川流域「博物館」構想	12市町村賛同 持続可能な防災へ			○	幸野溝
2月26日	人吉新聞	奥球磨の魅力歩き訪ね体感	猫寺コースでフットパス				下里御大師堂
3月25日	人吉新聞	地図手に名所巡り 湯前の魅力再発見	50人がロゲイニング楽しむ				下里御大師堂、八勝寺、明導寺
3月29日	熊本日日新聞	伝統芸能 子どもたち男壮	県文化懇話会60周年 熊本市で芸術祭	○			東方組太鼓
12月20日	『どうぎゃん』2024年1月号	どうぎゃん 人吉球磨ふしぎ発見!	龍神鼻剱石神社				
4月5日	『まがわ春秋』第85号	知恵と汗の結晶「幸野溝」	幸野溝の紹介			○	幸野溝
5月8日	『まがわ春秋』第86号	知恵と汗の結晶「幸野溝」②	幸野溝の紹介			○	幸野溝
8月5日	『まがわ春秋』第89号	入魂の歴史書②「幸野溝」	「幸野溝」の紹介			○	幸野溝
29				6	4	6	6

歴史まちづくりに関する情報発信等件数



※令和2年度からホームページのリニューアルを行ったため、HPアクセス数のカウントができなく

評価軸⑥-1  
 その他(効果等)

評価対象年度 令和5年度

項目

その他(効果等)

計画に記載している内容  
 本計画は、本町の歴史・文化的資源の継承とこれらを活用したまちづくりの基本方針として、法律第4条に規定する「歴史的風致維持向上基本方針」に基づき策定するものであり、文化財保護行政とまちづくり行政が緊密に連携し、文化財の保存と活用、都市、景観政策による各種の措置を講ずることにより、行政、地域住民、地域団体、企業などが一体となって、まちづくりに取り組むことを目的とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

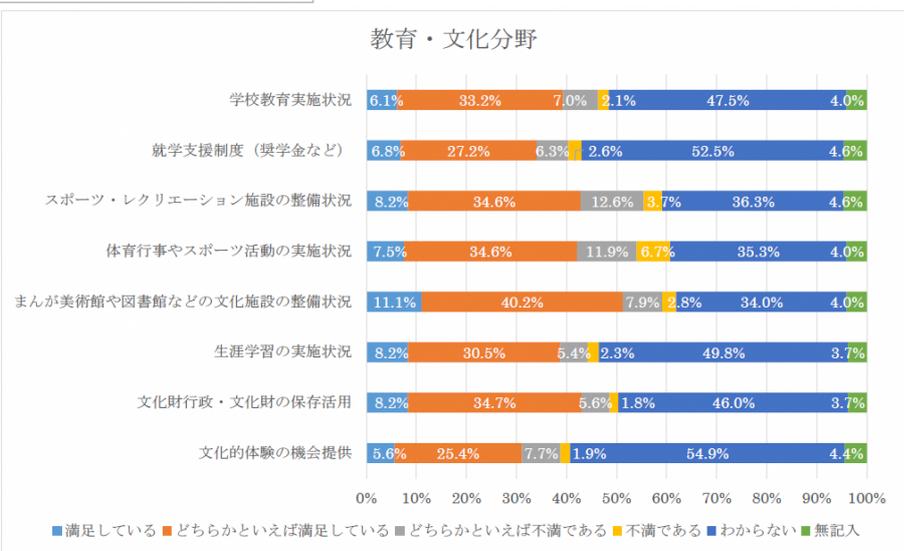
○地域住民等の意識 … アンケート調査(文化財行政・文化財の保存活用に対する満足度)  
 満足・どちらかといえば満足と回答した割合 25%(R2)→**42.9%(R5)**  
 ○観光入込客数等 … 総入込客数 90,840人(R2) → 164,890人(R3) → 117,275人(R4) → **122,589人(R5)**

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

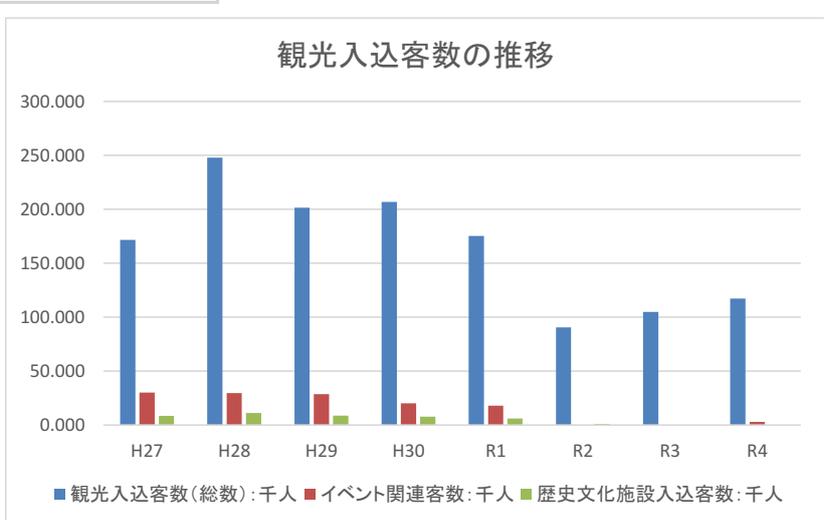
□計画の進捗に影響あり  
 ■計画の進捗に影響なし  
 歴史的風致維持向上計画の事業の他、地域住民等による古民家の活用や、歴史的風致としていない祭礼行事、歴史ある建造物の恒常的な維持管理や修理などの取り組みがなされている。

状況を示す写真や資料等

令和5年度実施「湯前町まちづくりアンケート



湯前町観光入込客数の推移



評価対象年度 令和5年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 湯前町歴史的風致維持向上協議会

会議等の開催日時: 令和6年5月15日(水)～5月27日(月) 書面審議

(コメントの概要)

1 有識者コメント

○(伊東委員)八勝寺や明導寺とともに、湯前駅舎も素晴らしい文化財です。内部を資料館として活用するのは大変良いことで賛成ですが、駅舎そのものを見せること、そのためにあまりに多くの資料で壁が埋め尽くされて、建物の良いところが見えなくならないようにご配慮いただきたいと思えます。もしも可能であるならば、後世の手が入って姿が変わってしまっている部分を復原することも一つの手です。文化財としての価値が一層輝くクラシックな姿で駅舎を見ていただければ有難いと考えています。

○(伊東委員)「道路の美装化」について、イメージパースはあるが、どこが現状と異なるのか分からない。具体的な内容を記してほしい。

○(伊東委員)『湯前の文化財』(平成30年)は、内容として少し古くなったということはないか。新たな調査成果も出ており、報告できることも多くなったのではないか。

○(桂委員)評価年度や事業期間との対応がわかりにくいと感じた(評価軸③-1、③-13)。

○(溝下委員)宝陀寺観音堂は屋根修理が必要ではないか。湯前駅舎の保存修理も検討してほしい。

○(溝下委員)球磨神楽は国指定でもあるので、国からの補助も可能ではないか。

○(富田委員)浜川地内の幸野溝の隧道約250メートルが、安全面で不安があり、現在は見学を中止している。対策をお願いしたい。また、下村大師堂周辺は水利施設も集中しているので、ウォーキングロードや歴史・水辺公園としての整備を検討してほしい。

○(工藤委員)御大師堂の修理工事が終了し大変よかった。休憩所や周辺施設の整備をしっかりとお願いしたい。下町橋もたくさんの人に見てもらえるよう、周知してほしい。20年目を迎える湯前中学校伝統芸能継承活動を今後も応援していただきたい。

○(工藤委員)里宮通り他の道路美装化事業はほとんど進捗していない。通りを活性化するためには、現在の建物等を生かした住民参加型のまちなみ形成に移行してはどうか。

○(上村委員)明導寺阿弥陀堂の表記が「城泉寺」「明導寺阿弥陀堂」など複数あり紛らわしいので、一本化したほうがよい。

○(上村委員)宝陀寺観音堂の駐車場直下の参道入口の階段を改修し、手すりを設置してほしい。

2 今後の対応等

・評価シートの事業期間と評価対象年度の対応関係について、評価軸③-1については、当初計画時の事業期間や、いったん事業完了としたことなどから、整合性がとれていないので、今後、計画変更を行い、実態に即したものとしていきたい。評価軸③-13の観光案内人育成事業は、町の事業としては令和2年度をもって終了しているが、その後も観光案内人協会の活動は継続しているので、記載を更新し評価も継続することとしたい。

・『湯前の文化財』(平成30年)の発行後、御大師堂の修理など新たに得られた知見も多くあるので、今後改訂するときにはそれらの情報も反映させるとともに、情報発信に努めていきたい。

・明導寺阿弥陀堂の名称については、歴まち計画では文化財指定名称の「明導寺阿弥陀堂」を使用しているが、湯前町としては「城泉寺(浄心寺)」を使用し、徐々に本来の名称である「浄心寺」の浸透を図っていくこととしている。

・個別の事業についても多くの意見をいただいたので、今後、協議会の場で議論をしながら、事業を進めていきたい。